

会 議 録

会議名		令和６年度 第１１回 小金井市学童保育所運営協議会
事務局 (担当課)		児童青少年課
開催日時		令和７年３月２５日（火） １９時００分～２０時００分
開催場所		第二庁舎８階８０１会議室及び一部オンライン会議
出席者	委員	平岡委員長、高藤副委員長、堤委員、中山委員、鈴木委員、森永委員、青木委員、太田委員、戸田委員、神山委員、松山委員、伊東委員、矢野委員
	事務局	野村学童保育係長
欠席者		
会議次第		１ 開会 ２ 議題 (１) 利用者アンケートの結果について（結果の共有） (２) 令和７年度予算について (３) その他 ３ 閉会
配布資料		
議事		１ 開会 委員長から開会の挨拶、議題の紹介 ２ 議題 (１) 利用者アンケートの結果について（結果の共有） (市) アンケートのまとめを報告する。今年度は育成室ごとに集計し、子どもの学年でも分けている。 安心して、楽しく通えていると思いますかという問い、そう思う、ややそう思う二つを足すと、ほぼ８０％に届いているような形である、およそ８割の方が、楽しく通えているという分析となっている。 保護者また子どもが困っていることを指導員に相談したとき、指導員は適切に対応し信頼関係を築いていると思うかという問いに対して、そう思うが６３％に、ややそう思うが２５％、足すと、８０％以上の回答のをいただいている状況である。 子どもについて知って欲しいことを伝えた指導員同士で共有されていると思いますかという問いには、そう思うが５４％。ややそう思うが２９％となっており、８０％以上が、共有されているというような回答となっている。 現在学童保育所の保育環境は安全管理衛生管理を含め適切に運営されていると思いますかという問いには、そう思う４８％、ややそう思うが、２９％となっており、こちらも７７％程度と、約８０％程度という形の回答である。障がいのある子供に適切な支援を行い子供同士のかかわり合いを

大切にしたい生活を送れるように配慮されていると思いますかという問いには、そう思うが、20%に、ややそう思うが14%。どちらとも言えないという、回答があり、わからないというのが56%というのがこちらで直接見ていない障がいのある児童に関しての支援をどの程度実施しているかわからないというような回答が多かった。

現在の指導員の体制を安心できると感じますかにはそう思うが44%、ややそう思うが29%とたすと70%程度となっている。

該当学童保育所で遊びや活動や行事に満足していますかという最後の質問にはそう思うが55%、ややそう思うが30%と、両方足すと80%以上の回答を得られた。回答件数で412件となっている。3月1日時点の子供の在籍人数と全所1475人であり、大体28%の回答率という状況となっており、昨年の回答も432件なので、変わらないように考えている。またアンケート各所の部屋ごとにまとめた資料を集計したものを

- ① 施設の老朽化
- ② 施設の広さが不足
- ③ 職員の配置をふやす
- ④ おやつについて
- ⑤ 対象学年の引き上げ
- ⑥ 職員の保護者への接遇向上
- ⑦ 職員への感謝
- ⑧ 保護者との情報共有不足
- ⑨ 職員の処遇改善

に分けて表にしてパーセンテージで表したものを作成した

こちら、対象年齢の引き上げというのは、4年生以上のニーズという部分がある。一番多いのは⑦の54件で職員への感謝というのが一番多い形となり、次に多いのは、②施設の広さが不足しているというところ。次が、③の職員の配置をふやすとの声が主だったところである。

(学)

今回と昨年と比較し分析して、結果みたいなのは何かあるか。

(市)

分析した結果というところでは育成室の面積について自由記載欄の意見が多いが、第3学童のポジティブな回答が高いという結果にはなったが、アンケートの母数が限られているので、これをうのみにせずというところがある。安心して楽しく学童に通えていると思いますかというところでは、概ね80%以上超えている、ネガティブ要因の数字は見受けられなかった。今後の課題としては、負担にならない時期で、子どもに直接意見聞くような、アンケートの工夫を学童保育所としてしていかなければいけないと考えている。

(学)

障がいのある子どもに対する設問は、毎回わからないが多く、分析の仕方考えたほうが良いと考える。

(市)

おっしゃる通り。設問に関しては例年、経年分析できるようにと変えなかったところもあるが見直しが必要と考える。

(学)

来年は満足だからよかっただけでなくて逆に、少数派の意見を拾い上げてほしい。

(市)

少数派のご意見で強いのは、自由記載欄に結構現れるので、指導員の先生方とも、自由記載の内容がどんな記載があったのかというのは、分析したうえで共有させていただきたい。

(2) 令和7年度予算について

(市)

資料を参照いただきたい。父母会から出された要望と、指導員からの要望も入っている資料となっている。対応済み、継続対応、対応検討を対応。件数で言うと対応検討が41件。対応済みが20件。対応予定が15件、対応中が3件というような形である。順次予算要求で他の要望と比較し、優先度を検討する。

(学)

検討と書いて令和7年度の実行はないと考えておいたほうがいいのか、それとも、あるかもしれないか。

(市)

優先度他等、検討して壊れた備品とか、早急に直さないもの。
この優先度を比較して、予算の範囲内でできるものは対応していきたいという考え方なので、7年度中にできるものも、未定となる。畳のところの張りかえ要望が各所から出ており、ジョイントマット等の代替案の実施に向けて現在調査をしている。

(3) その他

(学)

「けやきの森アフタースクールOKAERI」について、工事がされているのが先月末までの状況だったと思うが、開設に向けて、進んでいるか、またさわらび第3学童、まえはら学童の状況について説明いただきたい。

(市)

「けやきの森アフタースクールOKAERI」は今備品、棚などを設置し、蛇口や水まわり炊事場がつけられ、工事部分はできている。

さわらび第3学童は、第四小学校の卒業式後、荷物を搬入し消耗品などを購入して、開所に向けて進んでいる。

まえはら学童の職員は、施設長予定者の方も含め、それ以外の主任の方、職員配置予定の職員の方も、引き継ぎについては、保育に何度か入っ

ていただいているような状況となっている。

補足としてたまむし学童の畳の段差を解消する工事が終わり、きれいに

(学)

先ほどまえはら学童のところ、結局残られる方は何人か、回答できる

(市)

結局、子育て広場事業を担っていらっしゃる方のみ、引き続き残っただけの予定である。保護者への説明会も日程調整し、Webも含め検討

(学)

協議会の場で、数名の提示の可能性を聞いていたので、市から我々に伝えていただいていたところのギャップが結構大きく、そこをなるべくこう

いう内容だと各学童の父母に伝えたときにギャップが大きいと、協議会が

機能しているかという目線にも繋がるので考えていただきたい。

(市)

情報の伝え方や、結果の変化というところも想定しながらの伝え方を検討

させていただきたい。

次回日程 運営協議会の日程は令和7年4月22日、第二庁舎801会議室で開催方法に関しては副委員長と調整。

3 閉会

令和6年度第11回小金井市学童保育運営協議会を閉会する。